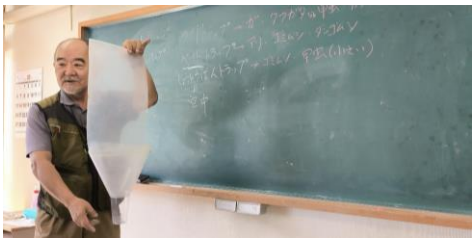
しんじょう

2025.3.27
すさき・かわうそクラブ会報
―No.36―
発行：すさき・かわうそクラブ事務局



令和6年度
すさき野外博物館

昆虫トラップを作ろう！

10月12日（土）

今回のテーマは「昆虫トラップ作り」、ペットボトル等で簡単に作るトラップ作りを教わりました。

【昆虫トラップの種類】
・ライトトラップ：シーツを張り、ブラックライトや誘蛾灯で集める
・ベイトトラップ：コップなどにエサを入れ、匂いで集める
・衝突板トラップ：虫の通り道に板を立て、下に水を張り捕まえる

虫はアルコールや乳酸の匂いに惹かれるため、バナナ・ヨーグルト・カルピス・焼酎・ビールなどがエサとして有効だそうです。

紙コップにジュースを入れるだけの簡単なベイトトラップの紹介もあり、新荘公民館前の草むらに仕掛け、時間を置いてから集まってきた虫を捕まえ、種の同定などを行いました。

ペットボトルトラップは、切込みを入れるだけのものと、上部を切り離して逆さに取り付けるだけのもの、2種類を作りましたが、作業としては本当に簡単でした。

講師の別府先生より「作り方の基本は教えるが、トラップの種類の組み合わせはいろいろで、場所や時間によって設置方法など工夫が必要。どうやって虫を捕るのか自分で考えてやってみることが大事」とアドバイスがあり、子どもたちはそれぞれ工夫したトラップを作成していました。

造礁サンゴ類の世界

12月21日（土）

今回は初めて「サンゴ」をテーマに講師をお迎えしました。

サンゴは須崎市を含め高知県に多くの種が存在しており、講師に見せていただいた動画（産卵の様子、サンゴの赤ちゃんが泳ぐ様子）は非常に興味深く、海の中を身近に感じられることができました。

【サンゴについて】
・有藻性イシサンゴ：死ぬと白い骨が残る
・宝石サンゴ：宝飾品とされるもので、死んでも赤いまま
・刺胞動物であり弱い毒針を持つ
・卵で増える動物で夜に産卵する
・赤ちゃんの時に動き回り、好きな岩を見つけてくっつき、一生をその場所で過ごす
・口がありプランクトンを食べる
・世界で約1000種、日本で約400種、高知で約140種
・須崎市では野見で確認されているが、オニヒトデの食害による死滅個体も多い
・サンゴは生態系の土台となり、魚など他の生物の住む場所や栄養を提供している

講師のお話の後、サンゴの骨を使ったクリスマスツリー作りを行いました。作り方は簡単で、サンゴや貝をグルーガンで接着していきます。

サンゴの骨は大きさや形が様々で、それぞれ個性があり選ぶのも楽しく、参加者も吟味していました。いざ工作が始まると全員が集中して無言になっていき、各々サンゴの形を活かしたオリジナルのツリーを完成させていました。